



分散や長期投資が大切なのはわかったけど、これからどうしたらいいんだろう。



● 容易に分散投資ができる「投資信託(ファンド)」をご存知ですか。

投資信託の特徴

小口投資

債券投資や株式投資にはある程度まとまった資金が必要ですが、投資信託は1万円程度から容易に始めることができます。

分散投資

投資の基本は、資産を債券や株式などのいくつかの商品に分けてリスクを分散させることです。投資信託は、分散投資の考え方から生まれた金融商品です。

専門家による運用

個人では、債券や株式などの投資対象についての幅広い情報や投資手法を身に付けることはなかなか難しいといえます。投資信託は、経済・金融などに関する高度な知識を身に付けた専門家が投資家に代わって運用します。

○原則として毎日、時価(基準価額)が公表されますので、資産価値や値動きがわかりやすい投資商品といえます。

株式投資のイメージ

自力で1本の竿を使い魚を1匹ずつ釣る。



投資信託のイメージ

漁師にまかせて大きな網でいろいろな魚をとってもらい、その分け前を受けとる。



● 投資信託は投資家から集めた資金を専門家が運用する金融商品です。

投資信託は、複数の投資家から資金を集めて、運用の専門家が債券や株式などに投資・運用する金融商品です。投資信託の運用成果（運用によって生じた損益）は、投資家それぞれの投資額に応じて投資家にもたらされます。投資信託は元本が保証されていないため、投資額を下回り損失が生じることもあります。

投資信託のしくみ



投資信託で運用されている資産は、すべて信託銀行で分別して保管・管理されています。したがって万が一、運用会社、販売会社、信託銀行のいずれかが破綻しても投資家の資産は保全されます。

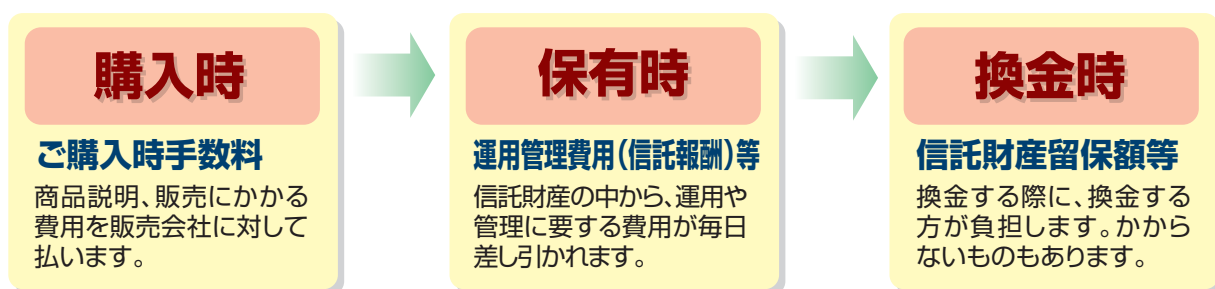
上記は契約型投資信託のイメージ図で、全てを説明しているものではありません。一部の運用会社では、投資信託を直接販売することもあります。

投資信託の値段

投資信託の値段（時価）のことを「**基準価額**」といいます。投資信託を購入したり、換金する際の基準となるもので、毎営業日、計算・公表されています。基準価額は運用によって得られた損益などにより**変動**します。

投資信託にかかる主な費用

詳しくは、P30の「投資信託に係る費用について」をご覧ください。



投資信託という方法があるのね。





預貯金の利子・利息と
分配金との違いは?

分配金について理解しましょう。

分配金は預貯金の利子・利息とは異なります。分配金はファンドの資産から支払うため、分配金が支払われると、その分、基準価額は下がります。

預貯金で利子・利息が支払われるイメージ

預貯金の場合、あらかじめ決められた利率で定期的に利子・利息が支払われます[※]。預けた元金にプラスして利子や利息がつきます。

※預貯金には、預け入れ後一定期間ごとに利率が見直される変動金利預金等もあります。



投資信託で分配金が支払われるイメージ

投資信託の場合、分配金額はファンドの運用状況に応じて異なりますので、毎回同じ金額とは限りません(支払われない場合もあります)。投資信託の分配金はファンドの資産から支払うため、分配金が支払われると資産が減り、その分、基準価額は下がることとなります。利子・利息と異なり、元金にプラスしてもらえないお金ではありません。

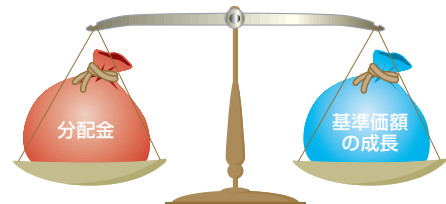


上記はイメージ図であり、全てを説明しているものではありません。
(作成)野村アセットマネジメント

ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金と基準価額をバランスよく考えることが大切です。

分配金が多い方がいいか少ない方がいいかは、一概にはいえません。**分配金と基準価額の値上がり益／値下がり損を合わせて考えることが大切です。**



ここで一息! 分配金Q&A



分配金が出る前に購入するか、出た後に購入するか、どちらが得なの?

ファンドに組み入れている資産の価格等が動かないと仮定した場合の、基準価額と分配金の関係について見てみましょう。



タロウさんは、決算前に基準価額10,000円でAファンドを購入し、分配金100円を受け取りました。分配金が支払われた分、保有しているAファンドの基準価額は9,900円に下落しました。



ハナコさんは、決算後に基準価額9,900円でAファンドを購入しました。分配金100円は受け取れませんでした。タロウさんより100円安い基準価額で購入できました。

タロウさんの受け取った分配金は自分の購入した代金の一部払い出しにすぎないので、タロウさん、ハナコさんのどちらかが得をしたということではありません。

・実際はファンドに組み入れている資産の価格等は動きますので、上記とは異なります。実際の基準価額や分配金額について示唆、保証するものではありません。
・費用・税金等は考慮していません。

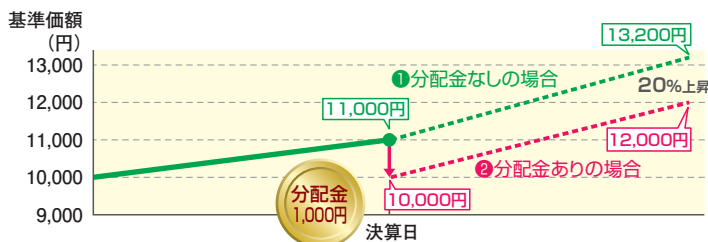
分配金が出る前に購入するか、出た後に購入するかは、投資タイミングを判断する材料にはならないんだね。



「分配金あり」と「分配金なし」どちらがいいの?

下のグラフは、分配金あり、分配金なしのどちらが優位になるかを、決算日以降に基準価額が上昇した場合、下落した場合で比較しています。

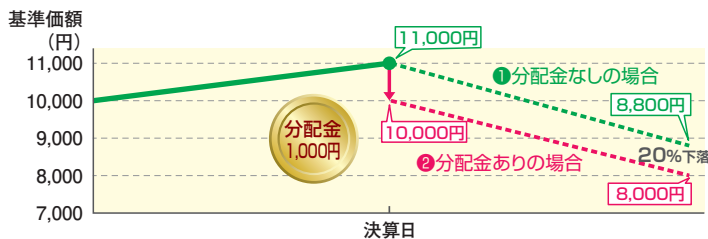
基準価額が上昇した場合



① 13,200円
12,000円
+
分配金
1,000円
= 13,000円
② 13,000円

「分配金なし」の方が優位。

基準価額が下落した場合



① 8,800円
8,000円
+
分配金
1,000円
= 9,000円
② 9,000円

「分配金あり」の方が優位。

・上記はイメージ図です。実際の基準価額や分配金額について示唆、保証するものではありません。
・説明を簡素化するため、費用・税金等は考慮していません。また、分配金は再投資せず、払い出したものと仮定しています。

その後の基準価額の動きによるため、分配金あり、なしのどちらが良いかは一概にいえません。





どのように投資信託を選んだらいいかしら...



ここでは分散投資に関する「3つの考え方」についてご紹介します。

● 自分に合った分散投資の方法を見つけましょう。

① オリジナルの分散投資

複数の「単一資産に投資する投資信託」を自分で組み合わせて分散投資。

- 「単一資産(国内株式等)に投資する投資信託(ファンド)」を自由に入れ替えることができます。(但し、手数料等コスト負担が必要。)
- ファンドごとに基準価額を確認でき、ファンドごとの動きがわかります。

複数ファンドの組合せの一例

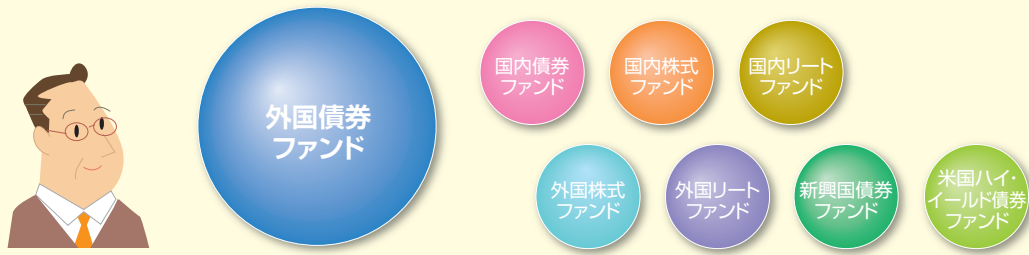
- 分散投資はしつつも、安全重視...
- 国内の金利は低くても為替変動リスクはとりたくない...
- 安定した利回りを期待したい... など

リスクを抑える為、国内債券の比率を高くし、その他の資産の比率を小さくする。



- 相対的に高い利回りを期待したい... など

外国債券の比率を高くする。



上記はイメージ図です。また、資産運用の一例であり、全てを網羅しているものではありません。
(作成)野村アセットマネジメント

② バランスファンドに投資

自ら分散投資を行なう「バランスファンド」だけで分散投資。

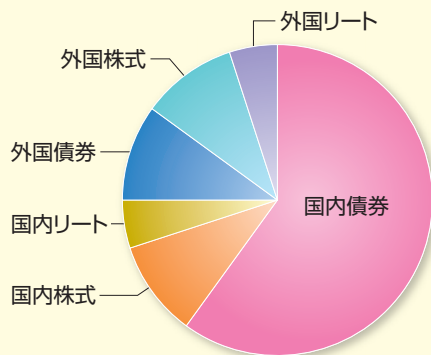
- 1本の投資信託(バランスファンド)で、資産分散を行なうことができます。(管理しやすい。)
- 1ファンドの基準価額を見れば、全体が把握できます。
- コア(資産運用において核となる)ファンドとして活用できます。

バランスファンドの種類の一例

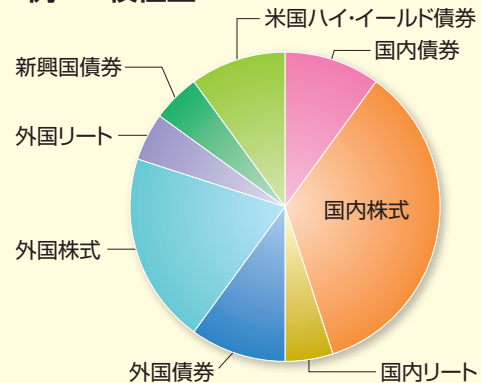
あらかじめ資産配分が決まっているバランスファンド

投資スタイルやリスク水準に合わせて投資配分比率を決定し、その比率を維持。
(定期的に配分比率を元に戻す「リバランス」を行なう。)

<例1 安定型>

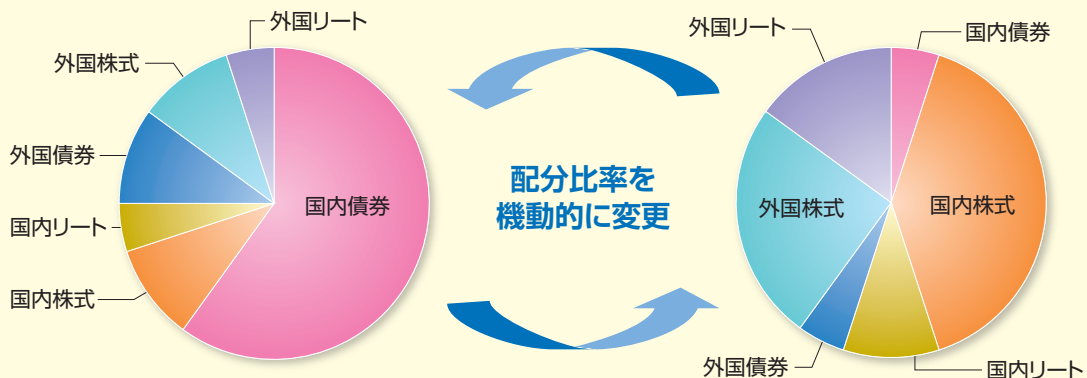


<例2 積極型>



投資環境の変化に対応して資産配分を変更するバランスファンド

経済情勢や市況の見通し等に応じて、投資配分比率をファンド内で機動的に見直し。



※資金動向・市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
上記はイメージ図です。また、資産運用の一例であり、全てを網羅しているものではありません。
(作成)野村アセットマネジメント

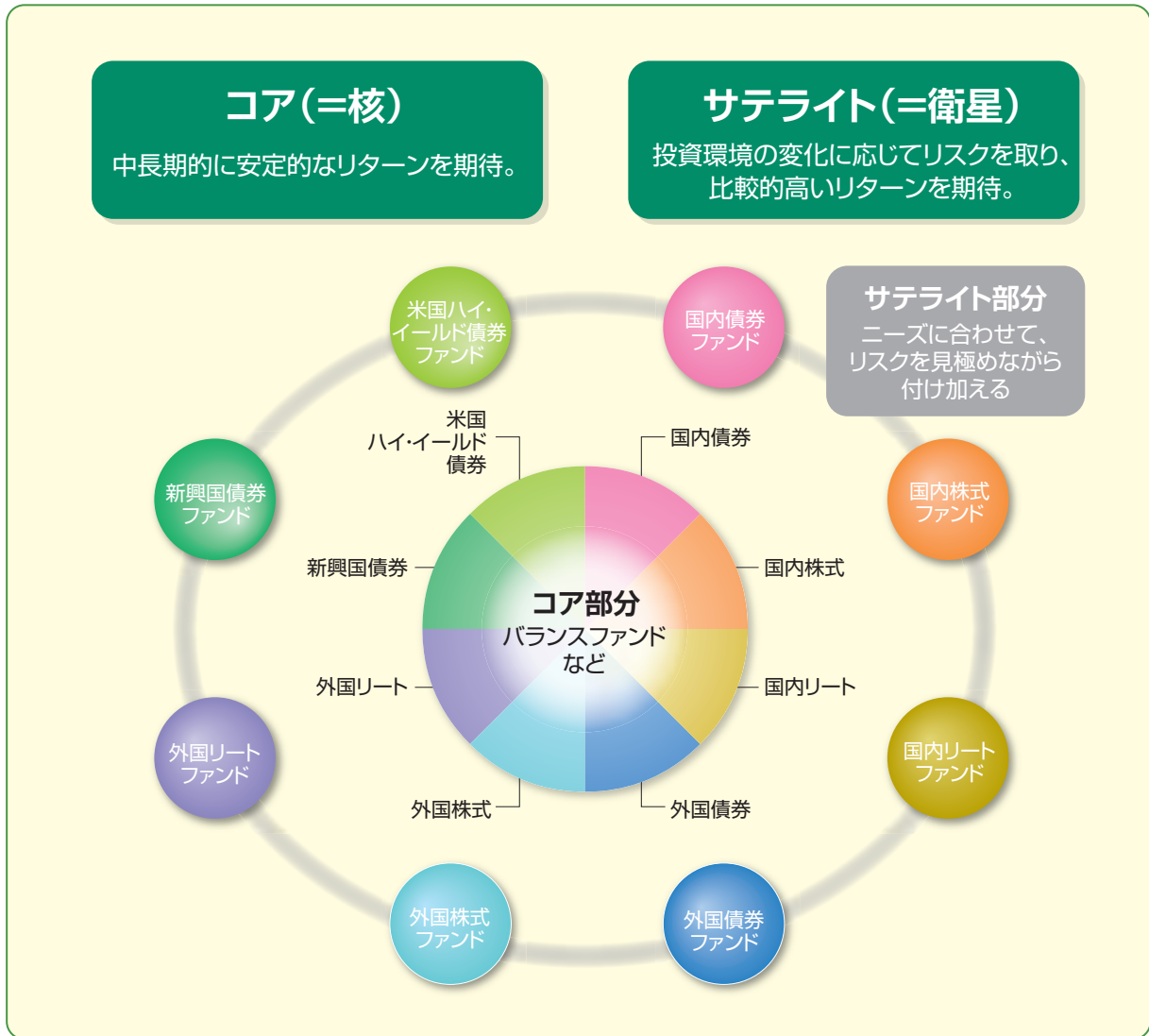
③ コア・サテライト

「バランスファンド」に「単一資産に投資する投資信託」を加えて分散投資。

- 「①オリジナルの分散投資」、「②バランスファンドに投資」の利点を組み合わせることができます。
- 資産運用の基本に「コア・サテライト」という考え方があります。

運用資産を「コア」と「サテライト」に分けて考え、バランスよく資産を組み合わせることで、全体のリスクを抑えつつ $+\alpha$ のリターンを期待できます。

コア・サテライト戦略とは?



上記は、野村アセットマネジメントが考える「コア・サテライト」の概要および特徴を記載したものです。
また、上図は野村アセットマネジメントが考える「コア・サテライト」のイメージ図であり、全てのコア・サテライトの考え方を示しているわけではありません。
(作成)野村アセットマネジメント

いくつかのファンドを
組み合わせてみてもいいね。

